**第２学年　　道徳学習指導案**

平成２３年６月１５日（水）第６校時

生徒数　２年A組　２４名　コスモス学級１名

指導者　岸本和幸

１　主題名　信頼・友情（内容項目２－(３)）

２　ねらい　信頼しあえる友達関係を自ら築こうとする心情を養う

３　資料名　自分だけ「余り」になってしまう・・・

４　主題設定の理由

　子どもたちは、集団の中で組をつくる場合、「余り」になることを不安に思う傾向が強い。その不安を生じさせているのは『目立ちたくない』『友達が少ないと思われてしまう』『もっと自分を大切にしてほしい』などの自己中心的な考え方である。

　真の友情を育むためには、その自己中心的な考え方から『友達の気持ちを大切にし、自分が一歩引いてみる』という≪勇気≫も必要であると考える。また、そのような考え方に基づいた行動は、その人間を大きく成長させるとともに、周囲からの信頼にもつながる。

　本来、きちんとした信頼関係で「つながっている」ことに自信があれば、一人になることにさほどの勇気を振り絞る必要はない。しかし、この時期の中学生にとっては、その考えに至ることは難しいと考える。そこで、この時間では「一人になることを選択する勇気」が「友情を深めることにつながる」かもしれない、という内容について考えさせたい。

この学級はとても静かに授業に取り組む学級である。何事も真面目に考える生徒たちであるが、「余り」を恐れる傾向はこの学級にも当てはまる。しかし、マイナスに見えるような気持ちが自分にあることを認めることや、自分の本当の気持ちを発表することにはまだまだ抵抗があるので、表現方法を工夫し、ねらいに迫りたい。

５　他の教育活動との関連

　　特活：仲間づくり

　　国語：走れメロス

６　準備物

　　資料（2部編成）

　　ワークシート

　　マグネットに張り付けた名前

７　学習指導過程

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段　階 | 学習活動 | 主な発問と予想される生徒の反応 | 指導上の留意点 |
| 導  入 | 班活動をする  （3人→2人）  気持ちを名前マグネットで表す | ・「余り」になることを避けようとする  ・平気そう  ○自分だけ「余り」になることについてどう思う？ | 「余り」になることについての気持ちを確認する |
| 展  開 | 資料①を読む  発表する  資料②を読む  ワークシートに記入する  発表する  発表する | ○好美さんはなぜ「恥ずかしい」と感じるのでしょうか？  ・視線が気になる  ・友達がいないと思われるから  ◎≪そいつ≫が「余り」を引き受けることを決めた時の気持は？  ・しょうがないなあ  ・ほんとは嫌だけど・・・  ・あいつらが楽しいなら、これでいい  なぜ≪そいつ≫は笑顔で手を振っているのか  　・しかたなく  　・みんなを、いやな気持にさせないため  ○「ぼく」たちはこの後、どうしたでしょう？  　・謝った  ・今度は「ぼく」が余りに・・・  　・順番で | 「ぼく」にも同じような「ちっちゃな人間」としての気持ちがあること  この気持ちを「おとな」と感じていること  【自分の考えをワークシートに記入できている】  クイズ的にならないように深く追求しない  そういう人なら新しい親友になれるかも |
| 終  末 | マグネットの移動をする  振りかえる | はじめにやった気持と少しでも変わる人は移動させよう | 【自分の考えをワークシートに記入できている】 |

自分だけ「余り」になってしまう・・・

名前（　　　　　　　　　　　　　　　　）

　班替えやグループづくりの時、ついお互いに顔を見てうなずきあったり、自分が余らないようにしたくなる気持ちはありませんか?　あるいは、不安なんだけど、じたばたするのも嫌で、不安を持ちながら成り行きに任せてしまうようなことはありませんか?

　あなたは「自分だけ余り」になることをどう思いますか?

気

　い に

　や し

　だ どちらでもない　　　　　 　　　　　　　　　　　な

い

◆≪そいつ≫が「余り」を引き受けることを

決めた時の気持は？

授業を振り返って思うことを書いてみよう。

|  |
| --- |
|  |